

# ★ 潜在性結核感染症 (latent tuberculosis infection : LTBI) を知っていますか？

結核菌に感染している可能性が高い状態ですが、発病はしていないため、他の人に感染させる心配はありません。(無症状病原体保有者とも言います) 結核の薬を飲むことで発病を予防することができます。

## ★ 潜在性結核感染症の検査方法について

潜在性結核感染症は、以下の検査結果から診断されます。

### ① IGRA (QFT・T-SPOT) 検査

結核菌に感染しているかを調べる検査です。BCG 接種の影響を受けずに感染しているかを調べることができます。採血を行います。

### ② ツベルクリン反応検査

結核菌に感染すると、体の中で免疫ができます。この**免疫の力がどれくらいあるのか**を調べる検査です。BCG 接種の影響を受けます。

### ③ 胸部エックス線検査

① または②の検査で結核の感染が疑われる場合は、発病の有無を確認するために胸部エックス線検査を行います。

## ★ 潜在性結核感染症の治療について

結核に感染すると、**発病するリスクは「2年以内」が一番高いといわれています**。発病を抑えるためにイソニアジド(INH)という抗結核薬を**6ヶ月間**、または、イソニアジドとリファンピシン(RFP)の2種類の抗結核薬を**3～4ヶ月間内服**します。毎日きちんと内服することで**約50%～70%発病**を防ぐことができ、服薬終了後少なくとも**10年以上効果がある**とされています。

(潜在性結核感染症治療といわれます) ※結核医療の基準、結核診療ガイドライン改訂第3版より

また、何らかの理由で薬を飲めない場合は、発病リスクが高い2年間は**胸部エックス線検査を定期的に受け**、発病の有無を確認していくことが大切です。

## ★ 庄内地域の潜在性結核感染症の届出状況

庄内地域の結核新登録者数の年次推移

